

中学校区別実施計画(案)「後期計画」

～ 中期のまとめと後期の市立小・中学校の学校規模適正化～

平成28年10月

奈良市教育委員会

奈良市の学校規模適正化に係る 中学校区別実施計画（案）「後期計画」について

本市では、平成 20 年 1 月に策定した「奈良市学校規模適正化実施方針」に基づき、中学校区別実施計画（案）の「前期計画」（平成 19～22 年度）、「中期計画」（当初は平成 23～25 年度。今回、平成 23～27 年度に期間延長。）を策定しています。この計画のもと、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることができるような、より良い教育環境づくりを進めてきました。

本市の小・中学校の児童生徒数は、平成 19 年の小学生 19,219 人、中学生 8,603 人から平成 28 年には小学生 15,918 人、中学生 8,002 人となり、推計によると 4 年後の平成 32 年度には、小学生 15,031 人、中学生 7,282 人まで減少することが予想されるなど、児童生徒数の減少は続くことが推測されます。

このような児童生徒数の減少は全国的な傾向でもあり、文部科学省は公立小中学校を統合再編する際の基準について、約 60 年ぶりに見直しを行いました。平成 27 年 1 月に示された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の中では、地域との協働関係を生かした魅力ある学校づくりなどが盛り込まれています。また、平成 27 年 6 月には学校教育法が一部改正され、小中一貫教育を行う「義務教育学校」が新たな学校の種類として規定されました。

この度、「奈良市学校規模適正化実施方針」に示した「中期計画」「後期計画」の期間を改訂し、「後期計画」の始期を平成 28 年度とし、終期を「奈良市第 4 次総合計画」の終期と合わせた平成 32 年度までの計画とします。

奈良市学校規模適正化について

【1】市立学校の「学校規模の基準」について

平成 20 年 1 月に奈良市教育委員会が策定した「奈良市学校規模適正化実施方針」及び「中学校区別実施計画（案）」における市立学校の「学校規模の基準」は次のとおりです。

	過小規模	小規模	適正規模	大規模
小学校	1～5 学級または 6 学級で 100 人未満	6 学級で 100 人以上 または 7～11 学級	12～18 学級 (1 学年 = 2～3 学級)	19 学級以上
中学校	1～5 学級	6～8 学級	9～18 学級 (1 学年 = 3～6 学級)	19 学級以上

特別支援学級数は含まない。

【2】実施計画の期間について

実施計画の期間は、全体計画を平成 19～28 年度までの 10 年間としていましたが、今回、それを平成 32 年度まで延長しました。それに伴い、「中期」を平成 23～27 年、「後期」を平成 28～32 年と期間を延長しました。前期計画においては、過小規模校、適正化が早期に必要な小規模校等を対象に適正化を進めました。中期計画においては、児童生徒数の推移等を見て、必要と判断した学校に適正化を進めました。後期計画においては、通学路や施設などの環境を総合的に判断し、過小規模校や小規模校において統合再編を行うことで効果的に教育環境の充実を図ることができる学校の規模適正化など、児童生徒数の推移等を見て推進を図ります。

前期	平成 19～22 年度	過小規模校、適正化が早期に必要な小規模校・大規模校を対象に適正化を計画、または小規模解消のモデルケースとして計画
中期	平成 23～27 年度	児童生徒数の推移等を見て、必要と判断した学校に適正化を計画
後期	平成 28～32 年度	通学路や施設などの環境を総合的に判断し、過小規模校や小規模校において統合再編を行うことで効果的に教育環境の充実を図ることができる学校の規模適正化など、児童生徒数の推移等を見て推進

【3】適正化の手法について

計画内で示す適正化の手法は次のとおりです。

統合再編	近接・隣接する学校との関係を検討し、複数の学校をひとつに統合する。
特認校制度	豊かな自然環境に恵まれた小規模の学校で、住所変更をすることなく通学区域外からの就学を認める制度。

【4】統合再編時の校名等について

学校規模適正化に伴う統合再編に係る校名については、各地域の学校規模適正化検討協議会での協議を経て、教育委員会が定め、条例改正を行います。後期計画からは、校名の協議を円滑に進められるよう、次のとおり校名の案を提示します。

	統合校の設置場所	統合校の名称
1	統合再編の対象となる学校のうち、いずれかの学校を使用	継続使用する学校の名称を統合校の名称とする。
2	統合再編の対象となる学校とは異なる場所に設置	新たな名称を定め、統合校の名称とする。
例外	統合再編により、当該校区が1小学校・1中学校になる場合	小学校と中学校の名称を同一とする(ただし、名称が既存の学校の名称と重複する場合は、1または2を適用する)。

また、校章や校歌は学校が制定するものですが、校名とともに円滑に進める必要があるため、次のとおり校章と校歌の案を提示します。

	校章	校歌
上の表の1の場合	統合校として使用する学校の校章を、統合校の校章とする。ただし、デザインに学校を限定する要素が含まれる場合は改める。	統合再編を踏まえて(新しい学校を創る意を表して)、新たな校歌を制定する。
上の表の2の場合	新たな校章を定め、統合校の校章とする。	新たな校歌を定め、統合校の校歌とする。

中学校区別実施計画（案）「後期計画」 目次

ゾーン	小学校	中学校	頁
西部 北部	右京・神功	平 城 西	6
	朱雀・佐保台・左京	平 城 東	7
	富雄北・鳥見・[三碓]	富 雄	8
	登美ヶ丘・東登美ヶ丘	登美ヶ丘北	9
	青和・二名・[登美ヶ丘]	二 名	10
	伏見・西大寺北・あやめ池	伏 見	11
	富雄南・三碓・[あやめ池]	富 雄 南	12
	鶴舞・平城西 [登美ヶ丘・東登美ヶ丘]	登 美 ヶ 丘	13
	六条・伏見南	京 西	14
	富雄第三	富 雄 第 三	15
中部	都跡	都 跡	16
	平城 [平城西・西大寺北・都跡]	平 城	17
中央市 街地	飛鳥・[椿井]	飛 鳥	18
	鼓阪・佐保・鼓阪北 [興東]	若 草	19
	済美・大安寺・済美南	春 日	20
	椿井・大宮・大安寺西・佐保川	三 笠	21
南部	東市・辰市・明治・帯解(精華)	都 南	22
東部 ・ 月ヶ瀬 ・ 都祁	田原	田 原	23
	柳生	興東館柳生(柳生・興東)	24
	興東		
	月ヶ瀬	月 ヶ 瀬	25
	並松・都祁・吐山・六郷	都 祁	26
巻末資料	平成 28 年度 市立小・中学校の規模と児童生徒数 平成 20～32 年度までの児童生徒数・学級数の推移		27

* 小学校欄の[]表記は、複数の中学校区にまたがっているため、児童数の多い方の中学校区に掲載。

* 大柳生小学校と相和小学校は、平成 23 年 4 月、統合再編により興東小学校となった。

* 精華小学校と帯解小学校は、平成 27 年 4 月、統合再編により帯解小学校となった。

* 柳生中学校と興東中学校は、平成 27 年 4 月、統合再編により興東館柳生中学校となった。

中学校区別実施計画（案）

平城西中学校区

小学校	中学校
右京小学校、神功小学校	平城西中学校

後期計画

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成 28 年 5 月現在)		右京小(6 学級 174 人) 神功小(11 学級) 平城西中(8 学級)	
実施計画	右京小学校、神功小学校、平城西中学校は小規模校であり、平城西中学校区全体の教育環境を鑑みた小中一貫教育を軸とした統合再編を検討する。		
備考	右京小【H28.5 6 学級 174 人 H32 推計 8 学級 181 人】 神功小【H28.5 11 学級 237 人 H32 推計 10 学級 231 人】 平城西中【H28.5 8 学級 276 人 H32 推計 6 学級 190 人】		

* 右京小は、6 学級で 174 人なので、規模の区分は小規模 (P2「学校規模の基準」参照)



中期計画【平成 23～27 年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成 23 年 5 月現在)		右京小	
中期計画	右京小学校は小規模であるが、平成 23 年 4 月から小学校内に併設された右京幼稚園との連携教育を強化していくことや、今後の児童数の減少が緩やかなことから、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	右京小学校は中期計画の 5 年間で、児童数が減少した。 【H23 10 学級 219 人 H27 6 学級 171 人】 神功小学校は中期計画の 5 年間で、児童数が減少した。 【H23 13 学級 367 人 H27 11 学級 256 人】		

平城東中学校区

小学校	中学校
朱雀小学校、佐保台小学校、左京小学校	平城東中学校

後期計画

朱雀小(12学級) 左京小(12学級) 平城東中(11学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)		佐保台小(6学級122人)	
実施計画	佐保台小学校は小規模であるが、住宅開発が行われたことから、 <u>児童数の推移を見守ることとする。</u>		
備考	佐保台小【H28.5 6学級122人 H32推計 6学級142人】		

* 佐保台小は、6学級で122人なので、規模の区分は小規模(P2「学校規模の基準」参照)

中期計画【平成23～27年度】



	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	佐保台小		
中期計画	佐保台小学校は過小規模であるが、住宅開発の動向にあわせて、児童数の推移を見守ることとする。但し、過小規模が継続するようであれば、統合再編等を検討する。		
適性化手法等	統合再編		
備考	佐保台小学校は中期計画の5年間で、児童数が増加した。 【H23 6学級90人 H27 6学級111人】 また、佐保台小学校区において、H25年度に住宅開発が行われ、今後も児童数の増加が見込まれる。		

富雄中学校区

小学校	中学校
富雄北小学校、鳥見小学校 [三碓小学校]	富雄中学校

後期計画

鳥見小(13学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)			富雄北小(19学級) 富雄中(19学級)
実施計画	富雄北小学校と富雄中学校は大規模であるが、児童生徒数が緩やかに減少に向かうことが予想されるため、 <u>児童生徒数の推移を見守ることとする。</u>		
備考	富雄北小【H28.5 19学級 645人 H32推計 18学級 573人】 富雄中【H28.5 19学級 739人 H32推計 18学級 653人】		



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)			富雄北小 富雄中
中期計画	富雄北小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、通学区域の弾力化等により適正化を図る。 また、富雄中学校についても大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、富雄第三中学校が平成23年4月に開校したことから、生徒数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	富雄北小学校は中期計画の5年間で、児童数がやや減少した。 【H23 26学級 762人 H27 22学級 697人】 富雄中学校は中期計画の5年間で、生徒数が減少した。 【H23 23学級 899人 H27 19学級 727人】		

登美ヶ丘北中学校区

小学校	中学校
登美ヶ丘小学校、東登美ヶ丘小学校	登美ヶ丘北中学校

後期計画

登美ヶ丘小(16学級)、登美ヶ丘北中(12学級)は適正規模

課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)	過小規模	小規模	大規模
実施計画	東登美ヶ丘小学校は大規模であるが、児童数が緩やかに減少に向かうことが予想されるため、 <u>児童数の推移を見守る</u> こととする。		
備考	東登美ヶ丘小【H28.5 22学級 651人 H32推計 18学級 516人】		



中期計画【平成23～27年度】

課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	小規模	大規模
中期計画	登美ヶ丘小学校、東登美ヶ丘小学校は大規模であるが、適正規模を大きく上回らないことや、今後、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	登美ヶ丘小学校は中期計画の5年間で、児童数が減少した。 【H23 21学級 550人 H27 15学級 442人】 東登美ヶ丘小学校は中期計画の5年間で、児童数はほぼ横ばいであった。 【H23 22学級 636人 H27 23学級 652人】		

二名中学校区

小学校	中学校
青和小学校、二名小学校 [登美ヶ丘小学校]	二名中学校

後期計画

青和小(18学級)、二名小(16学級)、二名中(15学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)			
実施計画	3校とも適正規模であり、 <u>児童生徒数の推移を見守る</u> こととする。		
備考			



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)			青和小
中期計画	青和小学校は大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、今後、児童数が減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	青和小学校は中期計画の5年間で、児童数が減少した。 【H23 22学級 639人 H27 19学級 526人】		

伏見中学校区

小学校	中学校
伏見小学校、西大寺北小学校、あやめ池小学校	伏見中学校

後期計画

あやめ池小（16学級）、伏見中（18学級）は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)			伏見小(23学級) 西大寺北小(19学級)
実施計画	伏見小学校、西大寺北小学校は大規模であるが、急激な増加は予想されず、 <u>児童数の推移を見守ることとする。</u>		
備考	伏見小【H28.5 23学級 679人 H32推計 24学級 752人】 西大寺北小【H28.5 19学級 567人 H32推計 19学級 542人】		



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)			伏見小 西大寺北小 あやめ池小
中期計画	伏見小学校、西大寺北小学校、あやめ池小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	伏見小学校は中期計画の5年間で、児童数はほぼ横ばいであった。 【H23 23学級 649人 H27 21学級 664人】 西大寺北小学校は中期計画の5年間で、児童数がやや減少した。 【H23 22学級 629人 H27 18学級 570人】 あやめ池小学校は中期計画の5年間で、児童数はほぼ横ばいであった。 【H23 19学級 492人 H27 18学級 507人】		

富雄南中学校区

小学校	中学校
富雄南小学校、三碓小学校 [あやめ池小学校]	富雄南中学校

後期計画

富雄南中（15学級）は適正規模

課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)	過小規模	小規模	大規模
実施計画	富雄南小学校と三碓小学校は大規模であるが、児童数が緩やかに減少に向かうことが予想されるため、 <u>児童数の推移を見守る</u> こととする。		
備考	富雄南小【H28.5 20学級 603人 H32推計 17学級 522人】 三碓小【H28.5 24学級 769人 H32推計 20学級 633人】		



中期計画【平成23～27年度】

課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	小規模	大規模
中期計画	富雄南小学校は、今後も大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことから児童数の推移を見守ることとする。 また、三碓小学校は、児童数が減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守るとともに、通学区域の弾力化等を検討する。		
適性化手法等			
備考	富雄南小学校は中期計画の5年間で、児童数がやや増加した。 【H23 21学級 583人 H27 21学級 622人】 三碓小学校は中期計画の5年間で、児童数が減少した。 【H23 29学級 899人 H27 25学級 774人】		

登美ヶ丘中学校区

小学校	中学校
鶴舞小学校、平城西小学校 [登美ヶ丘小学校、東登美ヶ丘小学校]	登美ヶ丘中学校

後期計画

平城西小(14学級)、登美ヶ丘中(9学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)		鶴舞小(11学級)	
実施計画	鶴舞小学校は、小規模であるが、児童数が緩やかに増加に向かうことが予想されるため、 <u>児童数の推移を見守る</u> こととする。		
備考	鶴舞小【H28.5 11学級247人 H32推計 11学級282人】		



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)		鶴舞小	
中期計画	平成22年度中の時点では、鶴舞小は12学級で適正規模であったため、検討対象とならなかった。しかし、平成23年5月現在は11学級となったので、小規模に区分している。		
適性化手法等			
備考	鶴舞小学校は、中期計画の5年間、適正規模である12学級前後で推移した。 【H23 11学級266人、H24 12学級249人、H25 12学級241人、H26 12学級262人、 H27 11学級261人】		

京西中学校区

小学校	中学校
六条小学校、伏見南小学校	京西中学校

後期計画

伏見南小（12学級）、京西中（15学級）は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)			六条小(24学級)
実施計画	六条小学校は大規模であるが、児童数が緩やかに減少に向かうことが予想されるため、 <u>児童数の推移を見守ることとする。</u>		
備考	六条小【H28.5 24学級745人 H32推計 21学級657人】		



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)			六条小
中期計画	六条小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	六条小学校は中期計画の5年間で、児童数がやや減少した。 【H23 28学級831人 H27 24学級765人】		

富雄第三中学校区

小学校	中学校
富雄第三小学校	富雄第三中学校

後期計画

富雄第三小(15学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)		富雄第三中(7学級)	
実施計画	富雄第三中学校は小規模であるが、特色ある施設一体型の小中一貫教育の充実を図るとともに、 <u>生徒数の推移を見守る</u> こととする。		
備考	富雄第三中【H28.5 7学級 225人 H32推計 6学級 208人】		



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)			
中期計画	富雄第三中学校は、平成23年4月富雄第三小学校と一体型の小中一貫校として開校した。		
適性化手法等			
備考	富雄第三中学校 【H23 2学級 62人、H24 3学級 105人、H25 6学級 195人、H26 6学級 188人、 H27 8学級 246人】		

都跡中学校区

小学校	中学校
都跡小学校	都跡中学校

後期計画

都跡小(18学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)		都跡中(8学級)	
実施計画	都跡中学校は小規模であるが、急激な減少は予想されず、 <u>生徒数の推移を見守ることとする。</u>		
備考	都跡中【H28.5 8学級 263人 H32 推計 8学級 266人】		



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)			都跡小
中期計画	都跡小学校は今後も大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	都跡小学校は中期計画の5年間で、児童数が減少した。 【H23 20学級 599人 H27 17学級 527人】		

平城中学校区

小学校	中学校
平城小学校 [平城西小学校、西大寺北小学校、都跡小学校]	平城中学校

後期計画

平城中(12学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成27年5月現在)			平城小(21学級)
実施計画	平城小学校は大規模であるが、児童数が緩やかに減少に向かうことが予想されるため <u>児童数の推移を見守る</u> こととする。		
備考	平城小【H28.5 21学級637人 H32推計 19学級590人】		



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)			平城小
中期計画	平城小学校は今後も大規模な状況が続くが、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	平城小学校は中期計画の5年間で、児童数がやや減少した。 【H23 24学級693人 H27 22学級652人】		

飛鳥中学校区

小学校	中学校
飛鳥小学校 [椿井小学校]	飛鳥中学校

後期計画

飛鳥小学校（17学級）、飛鳥中学校（9学級）は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成27年5月現在)			
実施計画	2校とも適正規模であり、 <u>児童生徒数の推移を見守る</u> こととする。		
備考			



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)			飛鳥小
中期計画	飛鳥小学校は今後も大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、児童数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	飛鳥小学校は中期計画の5年間で、児童数がやや減少した。 【H23 21学級 555人 H27 18学級 515人】		

若草中学校区

小学校	中学校
鼓阪小学校、佐保小学校、鼓阪北小学校 [興東小学校]	若草中学校

後期計画

佐保小(15学級)、若草中(9学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)	鼓阪小(6学級 98人)	鼓阪北小(6学級 113人)	
実施計画	鼓阪小学校は過小規模、鼓阪北小学校は小規模校であり、若草中学校区全体の教育環境を鑑みた小中一貫教育を軸とした統合再編を検討する。		
備考	鼓阪小【H28.5 6学級 98人 H32推計 6学級 100人】 鼓阪北小【H28.5 6学級 113人 H32推計 6学級 95人】		

* 鼓阪小は、6学級で98人なので、規模の区分は過小規模、鼓阪北小は、6学級で113人なので、規模の区分は小規模(P2「学校規模の基準」参照)

中期計画【平成23~27年度】



	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)		鼓阪小 鼓阪北小	
中期計画	鼓阪小学校、鼓阪北小学校は小規模であるが、今後の児童数の減少が緩やかなため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	鼓阪小学校は中期計画の5年間で、児童数はほぼ横ばいであった。 【H23 6学級 110人 H27 6学級 104人】 鼓阪北小学校は中期計画の5年間で、児童数が減少した。 【H23 8学級 196人 H27 6学級 122人】		

春日中学校区

小学校	中学校
済美小学校、大安寺小学校、済美南小学校	春日中学校

後期計画

済美小(15学級)、大安寺小(12学級)、春日中(16学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)		済美南小(10学級)	
実施計画	済美南小は小規模であるが、児童数の減少が緩やかであることが予想されるため、 <u>児童数の推移を見守る</u> こととする。		
備考	済美南小【H28.5 10学級 232人 H32 推計 8学級 216人】		



中期計画【平成23～27年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)		済美南小	済美小
中期計画	済美南小学校は小規模であるが、児童数の減少が緩やかなため、児童数の推移を見守ることとする。 済美小学校は大規模であるが、今後の児童数の減少によって適正規模になることも予想されるため、児童数の推移を見守ることとする。		
適性化手法等			
備考	済美南小学校は中期計画の5年間で、児童数が減少した。 【H23 11学級 252人 H27 8学級 216人】 済美小学校は中期計画の5年間で、児童数が減少した。 【H23 19学級 561人 H27 17学級 460人】		

三笠中学校区

小学校	中学校
椿井小学校、大宮小学校、大安寺西小学校、佐保川小学校	三笠中学校

後期計画

大宮小(18学級)、大安寺西小(18学級) 佐保川小(15学級)は適正規模

課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)	過小規模	小規模	大規模
			椿井小(7学級)
実施計画	<p>椿井小学校は小規模であるが、専門的な聴力検査が行える防音室の設備が整っており、市内全域から通学できる難聴学級と難聴通級指導教室(きこえの教室)が設置され、今後も奈良市の難聴児教育のセンター的役割としての充実を図るため、現状を維持する。</p> <p>三笠中学校は大規模であるが、生徒数が緩やかに減少に向かうことなどが予想されるため、生徒数の推移を見守ることとする。</p>		
備考	椿井小【H28.5 7学級 220人 H32推計 9学級 211人】 三笠中【H28.5 21学級 761人 H32推計 18学級 702人】		



中期計画【平成23～27年度】

課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	過小規模	小規模	大規模
			椿井小
中期計画	<p>椿井小学校は小規模であるが、専門的な聴力検査が行える防音室の設備が整っており、市内全域から通学できる難聴学級と難聴通級指導教室(きこえの教室)が設置され、奈良市の難聴児教育のセンター的役割を担っているため、現状を維持する。</p> <p>三笠中学校は今後も大規模な状況が続くが、適正規模を大きく上回らないことや、生徒数が緩やかに減少に向かうと予想されるため、生徒数の推移を見守ることとする。</p>		
適性化手法等			
備考	<p>椿井小学校は中期計画の5年間で、児童数がやや減少した。 【H23 9学級 221人 H27 7学級 202人】</p> <p>三笠中学校は中期計画の5年間で、生徒数が減少した。 【H23 24学級 887人 H27 22学級 795人】</p>		

都南中学校区

小学校	中学校
東市小学校、辰市小学校、明治小学校、帯解小学校	都南中学校

後期計画

辰市小(12学級) 明治小(15学級) 都南中(17学級)は適正規模

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成28年5月現在)		東市小(7学級) 帯解小(6学級 125人)	
実施計画	<p>精華小学校は過小規模が継続し複式学級が発生しているため、集団活動ができる人数を確保し教育環境を整える観点から、平成27年4月、統合先を帯解小学校とし統合再編を行った。</p> <p>東市小学校と帯解小学校は小規模であるが、急激な減少は予想されないため、児童数の推移を見守ることとする。</p>		
備考	<p>東市小【H28.5 7学級 199人 H32推計 7学級 185人】 帯解小【H28.5 6学級 125人 H32推計 6学級 138人】</p>		

* 帯解小は、6学級で125人なので、規模の区分は小規模(P2「学校規模の基準」参照)

中期計画【平成23～27年度】



	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成23年5月現在)	精華小	帯解小	
中期計画	<p>精華小学校は過小規模が継続し、複式学級が発生しているため、集団活動ができる人数を安定的に確保し、教育環境を整える観点から、帯解小学校との統合再編を検討する。</p>		
適性化手法等	統合再編		
備考	<p>帯解地域と精華地域において、帯解小学校と精華小学校を統合再編する計画について教職員や保護者、地域住民に対して説明会を実施したが、地域から学校がなくなる寂しさ等から合意を得ることができなかった。</p>		

田原中学校区

小学校	中学校
田原小学校	田原中学校

後期計画

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成 28 年 5 月現在)	田原小(4 学級) 田原中(3 学級)		
実施計画	田原小・中学校は過小規模であるが、特色ある施設一体型の小中一貫教育の充実を図るとともに、特認校制度等の導入についての検討を行うなど、 <u>児童生徒数の推移を見守る</u> こととする。		
備考	田原小【H28.5 4 学級 40 人 H32 推計 4 学級 43 人】 田原中【H28.5 3 学級 17 人 H32 推計 3 学級 16 人】		



中期計画【平成 23～27 年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成 23 年 5 月現在)	田原小 田原中		
中期計画	田原小・中学校は今後も過小規模が継続すると考えられるが、小中一貫教育の充実を図りながら、特認校制度等の導入についても検討する。		
適性化手法等	特認校制度		
備考	特認校制度を実施している先進事例校等に視察を行うなどして検討したが、制度を導入するには課題もあり、引き続き検討していく必要がある。		

興東館柳生中学校区

小学校	中学校
柳生小学校、興東小学校	興東館柳生中学校

後期計画

課題となる 規模の区分 (平成 28 年 5 月現在)	過小規模	小規模	大規模
	柳生小(5学級) 興東小(5学級) 興東館柳生中(3学級)		
実施計画	柳生中学校と興東中学校は過小規模であり、集団活動ができる人数を確保し教育環境を整える観点から、平成 27 年 4 月、 統合先を興東中学校とし、興東館柳生中学校として統合再編 を行った。 柳生小学校と興東小学校、興東館柳生中学校は過小規模であるが、他のゾーンとは地理的に離れていることから他校との統合再編は困難な状況にあるため 児童生徒数の推移を見守る こととする。		
備考	柳 生 小【H28.5 5学級 55人 H32推計 5学級 45人】 興 東 小【H28.5 5学級 50人 H32推計 4学級 38人】 興東館柳生中【H28.5 3学級 40人 H32推計 3学級 53人】		



中期計画【平成 23～27 年度】

課題となる 規模の区分 (平成 23 年 5 月現在)	過小規模	小規模	大規模
	柳生小・興東小 柳生中・興東中		
中期計画	柳生中学校と興東中学校はいずれも過小規模が継続しており、集団活動ができる人数を安定的に確保し、教育環境を整える観点から統合再編を行う。但し、統合先については、今後、中学校仕様に改修する大柳生小学校の場所とする。		
適性化手法等	統合再編		
備考	柳生地域において、統合再編する計画について教職員や保護者に対して説明会を実施したが、地域から学校がなくなる寂しさ等から合意を得ることができなかった。		

月ヶ瀬中学校区

小学校	中学校
月ヶ瀬小学校	月ヶ瀬中学校

後期計画

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成 28 年 5 月現在)	月ヶ瀬小 (5 学級) 月ヶ瀬中 (3 学級)		
実施計画	月ヶ瀬小学校と月ヶ瀬中学校は過小規模であるが、他のゾーンとは地理的に離れていることから他校との統合再編は困難な状況にあるため、月ヶ瀬小学校を月ヶ瀬中学校内に移転し、施設一体型の小中一貫教育校として平成 29 年 4 月に開校し、 <u>児童生徒数の推移を見守ることとする。</u>		
備考	月ヶ瀬小【H28.5 5 学級 52 人 H32 推計 6 学級 48 人】 月ヶ瀬中【H28.5 3 学級 28 人 H32 推計 3 学級 33 人】		



中期計画【平成 23 ~ 27 年度】

	過小規模	小規模	大規模
課題となる 規模の区分 (平成 23 年 5 月現在)	月ヶ瀬小 月ヶ瀬中		
中期計画	月ヶ瀬小・中学校ともに過小規模であるが、他のゾーンとは地理的に離れていることから、他校との統廃合は困難な状況にあり、今後、学校の活性化や特色ある学校づくりを進める視点で、特認校制度等の導入について検討する。		
適性化手法等	特認校制度		
備考	特認校制度について検討したが、地理的に離れていることから、交通の便が悪く、児童生徒が通うことが難しい。		

都祁中学校区

小学校	中学校
並松小学校、都祁小学校、吐山小学校、六郷小学校	都祁中学校

後期計画

	過小規模	小規模	大規模
課題となる規模の区分 (平成 28 年 5 月現在)	並松小 (6 学級 50 人) 都祁小 (6 学級 93 人) 吐山小 (4 学級) 六郷小 (4 学級)	都祁中(6 学級)	
実施計画	並松小学校・都祁小学校・吐山小学校・六郷小学校は過小規模であり、集団活動ができる人数を確保し教育環境を整える観点から、統合先を都祁小学校とし、統合再編を行う。 都祁中学校は小規模であるが、急激な減少は予想されないため、 生徒数の推移を見守ることとする。		
備考	並松小【H28.5 6 学級 50 人 都祁小【H28.5 6 学級 93 人 吐山小【H28.5 4 学級 34 人 六郷小【H28.5 4 学級 34 人 都祁中【H28.5 6 学級 149 人	H32 推計 9 学級 190 人】 H32 推計 4 学級 111 人】	

* 並松小は、6 学級で 50 人、都祁小は、6 学級で 93 人なので、規模の区分は過小規模 (P2「学校規模の基準」参照)

中期計画【平成 23～27 年度】



	過小規模	小規模	大規模
課題となる規模の区分 (平成 23 年 5 月現在)	並松小 吐山小 六郷小	都祁小 都祁中	
中期計画	並松小学校・吐山小学校・六郷小学校は過小規模であり、今後も過小規模が継続するようであれば、都祁小学校を含めて統合再編等を検討する。		
適性化手法等	統合再編		
備考	並松小学校は中期計画の 5 年間で児童数が減少した。 【H23 6 学級 64 人 H27 6 学級 54 人】 吐山小学校は中期計画の 5 年間で児童数が減少した。 【H23 6 学級 58 人 H27 4 学級 35 人】 六郷小学校は中期計画の 5 年間で児童数が減少した。 【H23 6 学級 68 人 H27 4 学級 34 人】		

資料

- ・平成 28 年度 市立小・中学校の規模と児童生徒数
- ・平成 20～32 年度までの児童生徒数・学級数の推移

市立小中学校の規模と児童生徒数

【平成28年5月1日現在】

市立小学校一覧

番号	学校名	児童数	学級数	
1	36 三碓小学校	769	24	↑ 大規模 (8校)
2	27 六条小学校	745	24	
3	15 伏見小学校	679	23	
4	30 東登美ヶ丘小学校	651	22	
5	10 平城小学校	637	21	
6	16 富雄南小学校	603	20	
7	17 富雄北小学校	645	19	
8	32 西大寺北小学校	567	19	
9	7 都跡小学校	552	18	↑
10	6 大宮小学校	527	18	適正規模 (20校)
11	28 青和小学校	504	18	
12	35 大安寺西小学校	481	18	
13	2 飛鳥小学校	509	17	
14	23 あやめ池小学校	506	16	
15	26 登美ヶ丘小学校	460	16	
16	31 二名小学校	422	16	
17	4 済美小学校	461	15	
18	33 富雄第三小学校	446	15	
19	5 佐保小学校	427	15	
20	12 明治小学校	406	15	
21	43 佐保川小学校	378	15	
22	34 平城西小学校	377	14	
23	25 鳥見小学校	413	13	
24	41 伏見南小学校	362	12	
25	8 大安寺小学校	349	12	
26	38 朱雀小学校	315	12	
27	44 左京小学校	282	12	
28	11 辰市小学校	270	12	
29	24 鶴舞小学校	247	11	小規模 (9校)
30	37 神功小学校	237	11	
31	39 済美南小学校	232	10	
32	1 椿井小学校	220	7	
33	9 東市小学校	199	7	
34	29 右京小学校	174	6	
35	13 帯解小学校	125	6	
36	42 佐保台小学校	122	6	
37	40 鼓阪北小学校	113	6	
38	3 鼓阪小学校	98	6	↑
39	47 都祁小学校	93	6	過小規模 (9校)
40	46 並松小学校	50	6	
41	20 柳生小学校	55	5	
42	45 月ヶ瀬小学校	52	5	
43	22 興東小学校	50	5	
44	18 田原小学校	40	4	
45	48 吐山小学校	34	4	↓
46	49 六郷小学校	34	4	
	合計	15,918	586	

市立中学校一覧

番号	学校名	生徒数	学級数		
1	2 三笠中学校	761	21	大規模 (2校)	
2	5 富雄中学校	739	19		
3	4 伏見中学校	675	18	↑	
4	6 都南中学校	556	17	適正規模 (12校)	
5	1 春日中学校	555	16		
6	13 京西中学校	545	15		
7	14 富雄南中学校	545	15		
8	12 二名中学校	532	15		
9	15 平城中学校	431	12		
10	17 登美ヶ丘北中学校	404	12		
11	19 平城東中学校	377	11		
12	10 登美ヶ丘中学校	334	9		
13	3 若草中学校	293	9		
14	16 飛鳥中学校	257	9		↓
15	11 平城西中学校	276	8		小規模 (4校)
16	18 都跡中学校	263	8		
17	22 富雄第三中学校	225	7	↓	
18	21 都祁中学校	149	6		
19	9 興東館柳生中学校	40	3		過小規模 (3校)
20	20 月ヶ瀬中学校	28	3		
21	7 田原中学校	17	3		
	合計	8,002	236		

【中学校】

大規模 : 19学級以上
 適正規模 : 9~18学級
 小規模 : 6~8学級
 過小規模 : 1~5学級

※ 特別支援学級数は含まない

【小学校】

大規模 : 19学級以上
 適正規模 : 12~18学級
 小規模 : 6学級で100人以上又は7~11学級
 過小規模 : 1~5学級又は6学級で100人未満

※ 特別支援学級数は含まない

平成28年度推計(小学校)

小学校名	学校基本調査																		住民基本台帳に基づく推計								児童数増減率	
	H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		H31		H32		中期計画 H23→H27 (実数)	後期計画 H28→H32 (推計)
	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL		
1 椿井	242	10	238	10	231	9	221	9	218	10	215	9	206	8	202	7	220	7	221	9	214	8	218	9	211	9	-8.6%	-4.1%
2 飛鳥	628	20	611	22	560	21	555	21	538	19	515	19	530	19	515	18	509	17	489	17	480	17	486	18	457	17	-7.2%	-10.2%
3 鼓阪	145	6	140	6	128	6	110	6	105	6	109	6	106	6	104	6	98	6	101	6	94	6	98	6	100	6	-5.5%	2.0%
4 済美	619	20	605	20	573	19	561	19	533	19	524	19	485	18	460	17	461	15	448	14	421	14	423	15	420	15	-18.0%	-8.9%
5 佐保	427	15	396	15	359	14	363	14	374	15	375	14	361	13	383	14	427	15	432	15	409	14	418	14	430	15	5.5%	0.7%
6 大宮	545	20	536	19	532	18	508	18	524	19	507	18	525	19	525	19	527	18	547	18	544	18	553	18	534	18	3.3%	1.3%
7 都跡	669	20	665	20	608	19	599	20	554	20	535	19	536	18	527	17	552	18	555	18	560	19	546	18	542	18	-12.0%	-1.8%
8 大安寺	373	13	346	12	347	12	360	14	348	13	357	14	356	14	365	13	349	12	348	12	349	12	352	13	349	13	1.4%	0.0%
9 東市	298	12	300	12	309	12	297	12	283	12	255	12	242	10	221	9	199	7	197	7	188	7	192	7	185	7	-25.6%	-7.0%
10 平城	700	22	699	24	710	24	693	24	649	23	652	23	651	23	652	22	637	21	633	20	633	20	600	19	590	19	-5.9%	-7.4%
11 辰市	384	14	365	14	351	15	331	13	321	12	297	12	284	12	281	12	270	12	278	11	273	11	283	11	295	10	-15.1%	9.3%
12 明治	407	15	437	15	445	17	434	17	419	17	443	17	436	17	431	17	406	15	401	14	386	14	360	12	350	12	-0.7%	-13.8%
13 帯解(※2)	150	6	143	6	148	6	141	6	148	6	127	6	120	6	130	6	125	6	128	6	133	6	135	6	138	6	-7.8%	10.4%
14 精華	25	3	23	4	21	2	22	3	15	3	18	3	15	3														
15 伏見	667	22	691	21	652	22	649	23	634	24	650	22	646	21	664	21	679	23	694	23	728	24	731	24	752	24	2.3%	10.8%
16 富雄南	555	18	570	18	568	20	583	21	603	21	620	22	630	23	622	21	603	20	583	18	581	19	564	19	522	17	6.7%	-13.4%
17 富雄北	853	28	824	28	792	27	762	26	723	25	692	25	686	24	697	22	645	19	630	21	622	21	609	19	573	18	-8.5%	-11.2%
18 田原	52	6	45	6	46	6	39	6	39	6	31	6	38	5	40	4	40	4	43	4	42	4	44	4	43	4	2.6%	7.5%
20 柳生	36	4	31	4	27	4	37	4	39	4	42	5	46	4	49	5	55	5	53	5	50	6	50	5	45	5	32.4%	-18.2%
21 大柳生	24	3	22	4	17	3																						
22 興東(※1)	42	4	47	5	43	4	59	6	57	6	56	6	56	6	51	5	50	5	45	4	44	4	40	4	38	4	-13.6%	-24.0%
23 あやめ池	512	19	508	17	513	19	492	19	487	18	496	18	502	19	507	18	506	16	512	17	512	18	509	17	501	17	3.0%	-1.0%
24 鶴舞	296	12	285	12	289	12	266	11	249	12	241	12	262	12	261	11	247	11	258	10	264	11	280	12	282	11	-1.9%	14.2%
25 鳥見	496	17	487	17	474	17	441	16	442	17	419	16	402	14	391	12	413	13	390	13	380	13	369	13	384	13	-11.3%	-7.0%
26 登美ヶ丘	607	22	578	21	558	20	550	21	491	19	478	18	439	16	442	15	460	16	429	14	447	15	443	15	436	15	-19.6%	-5.2%
27 六条	820	28	819	27	834	28	831	28	830	28	819	29	810	27	765	24	745	24	730	23	706	23	675	22	657	21	-7.9%	-11.8%
28 青和	680	23	693	22	690	24	639	22	619	22	563	20	555	20	526	19	504	18	494	17	492	16	496	16	510	18	-17.7%	1.2%
29 右京	274	11	260	11	241	10	219	10	199	8	201	9	188	8	171	6	174	6	165	6	177	7	181	7	181	8	-21.9%	4.0%
30 東登美ヶ丘	581	20	594	21	609	22	636	22	652	24	640	24	674	24	652	23	651	22	623	20	605	19	583	19	516	18	2.5%	-20.7%
31 二名	408	15	409	16	409	16	398	16	402	15	425	16	415	14	419	15	422	16	430	16	431	16	406	13	421	14	5.3%	-0.2%
32 西大寺北	562	19	593	20	621	21	629	22	636	23	639	24	607	21	570	18	567	19	569	20	552	19	551	19	542	19	-9.4%	-4.4%
33 富雄第三	476	16	492	16	472	16	454	15	455	17	448	17	471	17	443	15	446	15	448	15	427	14	415	14	375	13	-2.4%	-15.9%
34 平城西	323	11	330	11	333	12	366	12	354	12	343	12	362	13	363	13	377	14	366	14	361	12	361	12	327	12	-0.8%	-13.3%
35 大安寺西	589	20	589	20	561	21	544	18	551	21	536	19	506	18	496	18	481	18	479	16	465	15	486	17	491	18	-8.8%	2.1%
36 三碓	943	30	963	29	928	29	899	29	870	29	840	29	813	28	774	25	769	24	740	22	693	22	673	23	633	20	-13.9%	-17.7%
37 神功	472	16	441	15	418	14	367	13	351	13	303	12	271	11	256	11	237	11	243	9	238	9	227	9	231	10	-30.2%	-2.5%
38 朱雀	380	14	366	13	359	13	345	13	347	13	319	12	307	12	318	12	315	12	306	12	300	12	286	12	291	12	-7.8%	-7.6%
39 済美南	302	12	272	12	258	11	252	11	236	10	227	11	219	9	216	8	232	10	222	9	226	10	236	10	216	8	-14.3%	-6.9%
40 鼓阪北	263	11	244	10	226	9	196	8	171	6	145	6	141	6	122	6	113	6	103	6	109	6	100	6	95	6	-37.8%	-15.9%
41 伏見南	431	16	410	14	386	14	367	13	367	12	358	12	359	12	358	12	362	12	363	13	361	13	372	13	363	13	-2.5%	0.3%
42 佐保台	74	6	80	6	85	6	90	6	98	6	98	6	108	6	111	6	122	6	135	6	136	6	139	6	142	6	23.3%	16.4%
43 佐保川	556	19	537	19	504	18	470	18	451	17	413	16	409	15	399	13	378	15	355	13	348	12	350	12	358	13	-15.1%	-5.3%
44 左京	454	17	420	16	394	16	362	15	348	14	336	13	314	12	300	12	282	12	289	11	286	12	276	12	259	10	-17.1%	-8.2%
45 月ヶ瀬	89	6	88	6	81	6	63	6	53	6	54	6	53	5	51	5	52	5	58	6	56	6	55	6	48	6	-19.0%	-7.7%
46 並松	76	6	69	6	67	6	64	6	63	6	59	6	63	6	54	6	50	6	52	5	44	5	47	4	45	4	-15.6%	-10.0%
47 都祁	127	6	122	6	123	6	119	6	123	6	115	6	113	6	112	6	93	6	97	6	92	6	92	6	88	6	-5.9%	-5.4%
48 吐山	80	6	74	6	68	6	58	6	52	6	45	6	37	4	35	4	34	4	30	4	32	3	35	4	36	4	-39.7%	5.9%
49 六郷	86	6	83	6	76	6	68	6	67	6	56	6	46	6	34	4	34	4	33	4	37	4	34	4	29	3	-50.0%	-14.7%
計	18,798	685	18,540	680	18,044	678	17,509	670	17,088	666	16,636	658	16,401	630	16,065	592	15,918	586	15,745	569	15,528	568	15,379	564	15,031	555	-8.2%	-5.6%

(※1) 平成22年度までは相和小。平成23年3月31日に相和小及び大柳生小の統合再編により、平成23年4月1日に興東小となった。

(※2) 平成27年4月1日から、精華小及び帯解小の統合再編により帯解小となった。(平成26年度までは帯解小のみの数値)

平成28年度推計(中学校)

中学校名	学校基本調査																		住民基本台帳に基づく推計								生徒数増減率	
	H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		H31		H32		中期計画	後期計画
	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	人数	CL	H23→H27 (実数)	H28→H32 (推計)
1 春日	620	17	626	22	601	16	599	16	572	15	566	15	590	16	570	16	555	16	524	15	515	14	522	14	506	14	-4.8%	-8.8%
2 三笠	860	23	875	23	890	23	887	24	889	24	865	23	841	22	795	22	761	21	723	20	714	19	679	18	702	18	-10.4%	-7.8%
3 若草	440	12	434	12	431	12	406	12	378	12	355	11	329	10	314	9	293	9	277	9	290	9	297	9	291	9	-22.7%	-0.7%
4 伏見	571	15	576	15	562	15	589	16	611	17	612	17	626	17	645	17	675	18	648	18	611	17	624	17	625	17	9.5%	-7.4%
5 富雄	859	22	861	22	888	23	899	23	894	23	801	21	756	20	727	19	739	19	698	18	685	18	651	18	653	18	-19.1%	-11.6%
6 都南	632	20	601	19	579	18	558	18	568	18	571	17	602	18	566	17	556	17	510	16	509	16	479	15	478	15	1.4%	-14.0%
7 田原	46	3	36	3	33	3	31	3	25	3	29	3	21	3	21	3	17	3	23	3	21	3	17	3	16	3	-32.3%	-5.9%
8 柳生	30	3	28	3	24	3	18	3	15	3	11	3	19	3														
9 興東館柳生(※1)	42	3	39	3	39	3	37	3	40	3	35	3	23	3	42	3	40	3	49	3	53	3	56	3	53	3	13.5%	32.5%
10 登美ヶ丘	296	9	309	9	333	9	319	9	332	10	312	10	329	10	316	9	334	9	321	9	305	9	282	9	290	9	-0.9%	-13.2%
11 平城西	348	10	369	11	370	11	368	12	351	11	339	11	310	10	299	9	276	8	238	7	214	6	196	6	190	6	-18.8%	-31.2%
12 二名	514	15	513	15	517	15	569	16	576	16	575	16	542	15	545	15	532	15	512	14	495	14	480	13	456	13	-4.2%	-14.3%
13 京西	587	16	613	16	567	15	592	16	575	16	577	16	543	15	553	15	545	15	549	15	534	15	524	14	512	14	-6.6%	-6.1%
14 富雄南	575	15	585	16	603	16	599	16	607	16	600	16	599	16	582	16	545	15	535	15	549	15	528	15	541	15	-2.8%	-0.7%
15 平城	377	11	376	11	410	12	424	13	437	12	428	12	427	12	430	12	431	12	427	12	403	12	409	12	422	12	1.4%	-2.1%
16 飛鳥	330	11	324	11	337	12	339	12	327	12	276	10	254	9	253	9	257	9	262	8	255	8	245	8	239	8	-25.4%	-7.0%
17 登美ヶ丘北	317	9	322	9	342	9	365	11	392	12	393	12	417	12	406	12	404	12	383	12	365	11	356	10	359	10	11.2%	-11.1%
18 都跡	338	10	331	10	311	9	319	9	327	9	316	9	311	9	304	9	263	8	265	8	241	7	269	8	266	8	-4.7%	1.1%
19 平城東	498	14	469	13	449	12	452	12	429	12	410	12	392	12	404	12	377	11	342	10	323	9	323	9	331	9	-10.6%	-12.2%
20 月ヶ瀬	40	3	44	3	41	3	46	3	49	3	43	3	35	3	30	3	28	3	21	3	18	3	26	3	33	3	-34.8%	17.9%
21 都祁	230	6	223	6	207	6	180	6	160	6	155	6	156	6	158	6	149	6	132	5	124	4	103	3	111	4	-12.2%	-25.5%
22 富雄第三					62	2	105	3	195	6	188	6	246	8	225	7	234	7	209	6	209	6	209	6	208	6	134.3%(※2)	-7.6%
計	8,550	247	8,554	252	8,534	245	8,658	255	8,659	256	8,464	252	8,310	247	8,206	241	8,002	236	7,673	227	7,433	218	7,275	213	7,282	214	-5.2%	-9.0%

(※1)平成26年度までは興東中。平成27年4月1日から、柳生中及び興東中の統合再編により興東館柳生中となった。

(※2)富雄第三はH24→H27の増減率を算出

推計の方法について

- 平成20年度から平成28年度までは、学校基本調査をもとに作成した。
- 平成29年度から平成32年度までは、平成28年5月1日の住民基本台帳をもとに推計。
平成25年度から平成27年度までの3年間の就学率の平均値を用いて作成した。
- 小学校の学級定員(奈良市の独自施策による)
平成20～21年度：1・2年生は1学級30人上限
平成22年度：1～3年生は1学級30人
平成23年度：1～3年生は1学級30人、4年生は30人程度学級(33人が上限)
平成24年度：1～3年生は1学級30人、4・5年生は30人程度学級(33人が上限)
平成25年度：1～3年生は1学級30人、4～6年生は30人程度学級(33人が上限)
平成26年度：1・2年生は1学級30人上限、3・4年生は1学級33人上限、5・6年生は1学級35人上限
平成27年度：1・2年生は1学級30人上限、3～6年生は1学級35人上限
平成28年度以降は、1・2年生は1学級30人上限、3・4年生は1学級35人上限、5・6年生は1学級40人上限として推計している。
- 春日中学校の夜間学級数、生徒数は含まない。
- 人数は、特別支援学級在籍児童・生徒数が含まれる。学級数に特別支援学級数は含まない。
- 推計における小学校のクラス数は、複式学級についての奈良県によるルールを考慮している。
(複式学級：1年生と2年生併せて6人以下なら複式学級、または2学年併せて14人以下なら複式学級)